

科目名	エアポートサービス論	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			観光学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Airport Service	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	横田 恵三郎	修得単位	2単位	
授業のテーマ	空港は「観光立国」戦略をインフラ基盤として支え、2020年・4000万人の訪日外客を迎える受け皿としてその役割の重要性は益々増している。空港が担っている様々なサービス（機能）についてその内容と意義を理解し、空港関連業務に対して将来の進路選択の一助とすることを目的とする。			
授業概要	空港ではいったいどのようなサービスが展開されているか。一般的には航空会社による搭乗受付業務は広く認知されているが、現実には旅客、運航、整備、貨物、機内食、燃料、保安、搭降載、管制、税関、出入国管理、検疫、情報提供・案内等多くの機能が有機的に連携を図りながら、安全を第一に日々サービスを提供している。各々の機能について正しく理解するとともに、2013年に施行された民活空港運営法に基づく昨今の空港経営の変化について捉え、わが国の空港の将来像を展望する。			
到達目標	空港における仕事（機能）を理解し、関心を深め、将来の職業観を描きやすくすることを目標とする。			
授業時間外の学習	空港をはじめ航空関連事業の報道や関連する情報の収集に努めてください。			
履修条件	将来、航空会社、空港会社など航空関連企業・機関に進みたいと考えている人は是非履修することが望ましい。			
授業計画				
第1回	ガイダンス 空を飛ぶ夢を追った人々			
第2回	航空輸送の歴史と発展（航空機性能の進歩に伴って）			
第3回	国際旅客輸送の現状（グローバル・アライアンス、LCC）			
第4回	日本の航空輸送の変遷、現状（FSCとLCC）			
第5回	日本の空港整備の経緯と現状			
第6回	エアラインによる空港サービス①（旅客）			
第7回	エアラインによる空港サービス②（オペレーション）			
第8回	エアラインによる空港サービス③（整備士）			
第9回	エアラインによる空港サービス④（貨物、その他のグランドハンドリング）			
第10回	運航乗務員			
第11回	客室乗務員			
第12回	航空管制、保安検査、CIQ			
第13回	航空会社空港スタッフによる講演			
第14回	今後の空港運営（コンセッション方式）			
第15回	まとめ			
第16回	定期試験			
テキスト	毎回、関連する資料を配布します。			
参考文献・資料	授業中に紹介します。			
成績評価の方法	定期試験 50%、授業態度・取組姿勢 45%、その他 5%とし総合評価します。			
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			

オフィスアワー	① 毎週火曜 午前中 ②毎週木曜 午前中
学生への メッセージ	空港には様々な機能（仕事）があって、連携しながら日々の安全・安心で快適な運航を支えています。 この授業を履修することにより、次回、飛行機を利用する際に空港での観察の仕方が変わってくると思います。